

三世代交流懇親会 17軒で34名の皆さん が出席される

町内会で一番身近な 組織構成単位である向こう三軒両隣 11区52ブロックで三世代交流懇親会が開催されました。

新しい令和の新年度を迎え 先の総会で、町内会長から「明るい毘沙門台をめざして」向こう三軒両隣による支え合いを基に、誰もが不安無く、明るく 楽しく快適に暮らせる町づくりを構築してほしいとの要望がありました。

これに呼応する形で町内会からの1軒100円全ブロックへの支給を有効に活用し、ブロック幹事 今井さま、世話人 樫 さまのお骨折りにより令和元年9月1日 三世代交流懇親会が盛会に開催されました。



参加者はブロック内17軒で34人が出席され、自ら三世代の参加者を得ておりました。

座席は若者グループ、シニアグループに分けて打ち解けやすい環境づくりとされていて、若者のグループは 多いに盛り上がり、ブロックの中を豊かにする雰囲気でした。

三世代が集まられたと言う事は、自分たちから積極的に参加された証でもあります。また参加されることで協同の重要性を知ることができ、そこに必然的に和が生まれているように思います。

ブロックが主体となつての活動なので、今様の規約の改正もされていました。

三世代集まる事で今まで以上に、声をかけやすくなられたようです。三世代交流は未来を担う子供たちの成長を支える仕組みが見え、若者のグループは安心された事でしょう。これらは、世話人を引き受けられた樫 健吾様ご夫妻のご支援の賜でもありました。毘沙門台町内会に求められている協働型社会を学習させていただきました。

52ブロックの皆さま有り難うございました。

(2019/09/06記：毘町内会副会長 赤川)